

第 5 号様式（第 6 条関係）

城山 中学校 学校運営協議会会議録

会 議 の 名 称	第 2 回 城山中学校 学校運営協議会		
開 催 日	令和 7 年 8 月 2 0 日（水）		
開 催 時 間	1 3 時 0 0 分 ～ 1 4 時 1 0 分		
開 催 場 所	城山中学校 会議室		
出 席 者	校長 教頭 学校運営協議会委員 5 名 総括教諭 5 名		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0
会 議 の 内 容			
【議題】 1. 本校生徒の現状と課題（各グループより） 2. 本年度の地域学校協働活動について 3. その他（質疑・意見交換等）			
【主な意見・決定事項など】 1. 議題 （1）本校生徒の現状と課題（各グループ総括教諭より） A：儀式的行事を厳粛にしたいという思いを伝え、生徒と教員で共有することができている。これが他の大きなイベントにも活かさればと思っている。全国学習状況調査の結果も来ているので、分析しながら今後の教育活動に生かしていきたい。また、総合的な学習の時間をさらに魅力的なものにしたい。今年度から「よむ YOMU ワークシート」が始まっていることを知っていただきたい。 B：地域連携について、夏の間にはいろいろな研修会に行き、情報を得てきた。最近ではコミュニティールームなどがあり、コーディネーターや地域の人、先生たちが自由に入り、意見交換できる学校もあるとのこと。 C：進路を考えていくうえで、3 年生のゴールが「進学」になってしまっている節があるが、本来はその先を考えていかなければいけない。そのような意味で「職業調べ」はとても大事と考えている。C グループの中では、職業講話など、「色々な人から話を聞く」という機会を設けていきたい。今年度は、栄養技師さんに来ていただき、エナジードリンクの話などをしてもらった。 D：学校全体としては落ち着いているが、特に 1 学年生徒はまだまだ幼い印象があるので、夏休みが一つの区切りとして 2 学期から教員			

の共通認識を持ち、指導を徹底し、誰もが安心して過ごせる環境づくりを行っていききたい。また、小学校と中学校での連携をさらに深めて、生徒の支援につなげていききたい。

E:今年度、体育祭と合唱祭の時期を入れ替えて行っていく。熱中症対策の意味で入れ替えが起きているが、10月になっても油断できない暑さになりそうなので、対策を万全にしていきたい。

・質問意見等

○職業に関する意見として、綾瀬市内で行っている「オープンファクトリー」という活動があり、中学生もよい経験ができるのではないかな。→今年度は夏休み前にチラシを学校でも配布していた。再度周知の機会があれば。

○コミュニティールームに関して、他の地域の会議でも同じような話があった。→まずはPTAと情報共有していきたい。

(2) 本年度の地域学校協働活動について

○地域のイベントなどを子どもや職員が知らない→城山中学校は、4自治会のイベントはたくさんあり、全てを周知することがなかなか難しいが、4地区で行われているイベントを掲示する場を校内に設置し、提供することができそう。

○学区内の危険箇所や通学路について、確認する場を持つのはどうか。→各小学校や中学校のPTAでも、通学路点検はしている。PTA同士の連携という観点で検討の余地はある。

○城山中学校の4自治会はそれぞれに活動していると思う。一つのことを4自治会協力してというのは難しいが、各自治会に学校から「このようなお願いできますか」に対してはすぐに対応できると思う。ただし、他自治会地区のイベントの参加については、課題かもしれない。

2. その他（質疑・意見交換）

委員より、北の台中学校の、スポーツ推進委員の人が主体となって、ニュースポーツを子どもと一緒にやっている活動の紹介をしていただいた。

【配付資料】

なし

次回開催予定

未定